

# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(R4年度:計画作成主体:広島県農業再生協議会)(広島県)

## 取組の概要

対象品目 : 施設果樹(レモン)  
(産地面積2.86ha)

主な取組主体 : 農業者

成果目標 : 省エネ機器の導入面積を産地の50%以上に拡大  
基準(R3年度) 1.7%  
目標(R6年度) 60.8%

導入施設等 : 生産支援事業  
(施設園芸エネルギー転換枠)  
(機械リース(ヒートポンプ12台, 設置費))

広島県  
尾道市, 東広島市,  
大崎上島町



## ポイント

### 【産地の課題及び取組方向】

広島県のレモンは、令和元年度の栽培面積が280ha、生産量が6,284t(出典:特産果樹生産動態等調査)と日本一の産地であるが、露地栽培が中心となっている。このため、長期貯蔵やハウス栽培を推進し、周年供給体制の確立による産地強化を図っている。ハウス栽培においては、端境期で高単価となる6~9月出荷に向けて加温栽培が行われているが、燃油価格の高騰により加温を抑える動きがあり、単価の低下や生産量の減少が懸念される。そこで、本事業等により省エネ機器等を導入してエネルギー転換を推進し、安定的なハウス加温栽培による周年供給体制を確立することによって、生産者の経営力を強化し、さらなる産地振興を図る。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①省エネ機器への転換・導入
- ②高単価出荷に向けた省エネ機器の活用技術の確立
- ③省エネ機器の活用による生産性の向上

## 推進体制

### JA等

- ・生産指導
- ・販路拡大及び有利販売の推進

### 県農業技術指導所

- ・栽培技術、経営安定に向けた指導・助言
- ・省エネ機器の有効活用研修会の実施

### 施設レモン農家

省エネ機器  
導入面積の  
拡大

ヒートポンプ  
導入

### 県農林水産局

- ・取組の進捗管理
- ・県の独自支援

## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- ・省エネ機器の有効活用研修会の実施
- ・県独自の上乗せ助成(補助率1/4)
- ・県独自事業により省エネ化及び経営安定化の助成(補助率1/2)

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

- ①燃油コストの削減
- ②CO<sub>2</sub>の削減

### 【事業実施による間接効果】

- ①端境期(7~8月)の出荷量の増加
- ②産地としての収益性の向上



省エネ機器の  
導入面積が産地  
の60.8%に増加

